

薬学部創設「協力を」

県薬剤師会署名呼び掛け



琉球大学を念頭に県内への薬学部創設を目指している県薬剤師会の亀谷浩昌会長と県医師会の安里哲好会

長、県歯科医師会の真境名勉会長が10日、県庁で合同記者会見を開き、薬学部創設に賛同を求める署名への協力を呼び掛けた。

亀谷会長は「地元で薬学部ができれば薬剤師のレベル向上や医薬研究による相乗効果が得られ、製薬企業の誘致にもつながる。人材

.....
県内の国公立大学への薬学部創設に向けた署名活動をPRする（左から）県医師会の安里哲好会長と県薬剤師会の亀谷浩昌会長、県歯科医師会の真境名勉会長10日、県庁

流出にも歯止めを掛けられ、保護者や学生の負担軽減にもなる」と意義を強調。多くの県民の賛同を得て関係先に署名を届けたいとした。県看護協会も含め4者

で1月下旬から署名活動を始め、10日時点で約4万5千筆を収集。27日までに目標の5万筆を上回る数を集める考え。

厚生労働省の調査では、2016年12月現在の人口10万人当たりの薬剤師数は全国平均181人に対し、沖縄は約7割の134人で全国最下位となっている。

署名に関する問い合わせは県薬剤師会、電話098(963)8930、ファクス098(963)8932。同会のホームページから署名用紙が取得できる。

平成30年4月11日(沖縄タイムス社提供)

県内に薬学部創設を

医療3団体が訴え

県内の国公立大学への薬

学部・学科の創設を求めて署名活動をしている県薬剤師会の亀谷浩昌会長、県医師会の安里哲好会長、県歯科医師会の真境名勉会長は10日、県庁で記者会見した。県内に薬剤師養成の大学がなく人材不足に陥っている現状を訴え、創設に向けてさらなる賛同を呼び掛



けた。3団体と県看護協会は、4者連名で1月から署名活動を行っており、現在4万5千筆を超えているという。厚生労働省によると、2016年12月末時点で、人口10万人当たりの薬剤師数は全国平均が181人に対し、沖縄は134人と最も少ない。

安里会長は多くの病院では薬剤師の確保に苦勞しているとし、「薬物療法は日進月歩で進んでいる。薬学部開設は地域医療にも寄与する」と述べた。真境名会

県内国公立大学に薬学部の創設を訴えている（左から）県医師会の安里哲好会長、県薬剤師会の亀谷浩昌会長、県歯科医師会の真境名勉会長。10日、県庁

長は「患者をいかに地域で見えるかを考えると、歯科医師としてもかかりつけ薬剤師の力は大きいと感じる」とし、県民にも大きなメリ

ツトになるとした。

亀谷会長は「道はまだ見えていない。さらに多くの署名を集めて関係各方面に届けたい」とPRした。

薬剤師全国最少

「薬学部創設を」 署名活動延長

薬剤師不足解消のため、県内に薬学部を。県内の国公立大学への薬学部・学科の創設を求め、県薬剤師会が県医師会、県歯科医師会、県看護協会と連名で1月から署名活動を行っている。署名期間は当初、3月末を予定していたが、4月末まで延長した。沖縄には薬剤師養成の大学はなく、人口10万人当たりの薬剤師数が全国で最も少ない。同会は学部創設で人材確保だけでなく、さまざまな効果があると賛同を呼び掛ける。



「かかりつけ薬剤師が地域で活躍すれば、病気を防いで医療費を抑えられる。超高齢社会を迎えると、役割はますます大きくなる」。県薬剤師会の亀谷浩昌会長が強調する。国は、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう「地域包括ケアシステム」の構築を進める。薬剤師の役割は重視されるものの、県内では慢性的な人材不足に悩まされている。

厚生労働省によると、2016年12月末時点で、人口10万人当たりの薬剤師数は全国平均が181人に対し、沖縄は134人と最も少ない。同会は薬剤師を対象に無料職業

県PTA連合会理事会で、薬学部創設の意義を訴える県薬剤師会の亀谷浩昌会長（3月）（同会提供）

不足解消し医療費抑制

紹介を実施しているが、求職に訪れる人は慢性的に少ないという。責任者の大城喜仁さんによると、県出身者が県外大学を卒業し薬剤師になると、そのまま本土で就職するケースが多い。大城さんは「ここ10年は特に人材不足で、離島や本島北部地域はさらに深刻だ」と危機感を募らせる。

国公立にこだわるのは、経済的な負担を考慮しているためだ。亀谷会長によると、私立大の学費は6年間で平均1200万円にもなる。一方で、国公立大はその3分の1以下という。「県外からも優秀な人材が入り、県内の研究水準向上にもつながる」と期待を寄せる。

県も、人材不足の認識を持つ。県議会2月定例会で、県内に薬剤師を養成する大学がないことを問われ、県保健医療部の砂川靖部長は「薬学部設置は、薬剤師不足解消のための一助となる可能性がある」と答弁。県薬剤師会などの動向を注視し、課題の洗い出しをしていく考えを示した。

同会は医療や教育関係者らを回り、4月4日時点で約4万筆が集まった。問い合わせは同会☎098（963）8930。

平成30年4月9日(琉球新報社提供)

諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進んでいる日本ですが、沖縄県も例外ではありません。2025年には約4人に1人が65歳以上高齢者となり、高齢化率が21%を超える超高齢化社会になると予想されています。県民の医療・介護の需要がさらに増加することが見込まれ



前濱 朋子

る中、高齢者単独世帯も増加し続け、家庭内介護力は弱まっています。このため、厚生労働省では25年をめどに、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

この中で、薬剤師と薬局には「患者のための薬局ビジョン」

に示された「かかりつけ」としての機能と役割を発揮し、地域包括ケアシステムの構築に貢献していくことが求められています。具体的な薬剤師の役割は、多職種（医師・看護師・介護士など）や関連機関と連携を取りつつ患者宅へ出向き、薬に関するあらゆる業務（残薬の整理、

答えするのが困難であるというのが本県の状況です。

近年、薬物療法の発展はめざましく、医療の中で重要度を増しています。しかし、効果が良くなる反面、副作用や飲み合わせによる弊害もあるので注意深く使わなければなりません。お薬は服用した後が大事な

薬剤師養成校 設置願う

県内医療支える人材確保へ

重複投与薬の整理、処方提案など）を行います。

このような業務を担う薬剤師ですが、離島県である本県は、人口10万人当たりの薬剤師数は全国最低であり、本島北部地域や離島においてはさらに深刻です。地域包括ケアでの役割をしっかりと果たしたいのですが、薬剤師の確保が難しく、要請にお

です。薬局でお薬をもらってから次の受診日まで、しっかりと見守られなければなりません。この役割を果たすのにぴったりなのが「かかりつけ薬剤師」です。

私たち薬剤師は、日進月歩の薬剤の進化に対応すべく、もっと生涯教育に時間を割き、薬局の内外において機能を発揮し、

安心・安全な薬物療法に貢献していきたいと考えています。そのためにも、薬剤師の人材をしっかりと確保していただくよう県行政に積極的に訴えています。

薬剤師確保策の一つとして、県内に薬剤師養成校の設置があります。県薬剤師会では琉球大学に薬学部（科）創設を最優先目標に、県内国公立大学への薬学部（薬学科）の創設を強く要望しています。その手段の一つとして、県民の熱意を示すべく署名活動を展開しています。署名用紙は薬剤師会ほか地域の薬局に備え付けてあります。

離島県であるがための医療の地域格差をなくすため、また、県内の高校生の進路の選択の幅を広げることにもなります。薬剤師養成校の県内設置へのご理解、ご協力をお願いします。（那覇市、県薬剤師会副会長、54歳）

薬学部求め署名活動 県薬剤師会、人材定着図る



自治会長の会合で、薬学部創設の意義を訴える県薬剤師会の亀谷浩昌会長（後方中央）ら。2日、那覇市役所首里支所



琉球大学を念頭に薬学部
の県内創設を訴えてきた県
薬剤師会（亀谷浩昌会長）

は県医師会、県歯科医師会、
県看護協会との4者連名で
県内国公立大学への薬学部
(科)創設を求める署名活
動を1月下旬から行ってい
る。沖縄は人口10万人当
たりの薬剤師数が都道府県別
で最も少なく、薬剤師会は
「地元での薬剤師養成が、
人材の定着や創薬研究企業
の進出にもつながる」と強
調する。

県、大学機関などへ要請す
る方針だ。
会が学部創設の効果とす
るのは①医学・薬学の研究
に相乗効果が得られ、医療
水準の向上や医療関連企業
の創設・進出が活発化②県
外からも優秀な人材が入学
し、薬学研究水準の向上に
寄与—などの6項目。
厚生労働省の2年ごとの
調査によると、2016年
12月末現在の人口10万人当
たりの薬剤師数は134人
で全国平均181人の7割
余。徐々に増えているとは
いえ、調査では3回連続で
全国最少だ。

現状では県外の薬学系大
学を卒業するとそのまま県
外で就職するケースが多
く、離島や本島北部地域の
人材不足はさらに深刻とい
う。
「薬学部の6年間の学費
は県外私立大学で平均12
00万円だが、県内の国公
立大学に学部ができれば3
60万円。親や本人の負担
も軽減する」。2日、那覇
市役所首里支所であった自
治会長約40人の会合で、亀
谷会長は資料を基に署名へ
の協力を要望。「優秀な人
材を県内で養成し、定着し
てもらうことが医療水準の
地域格差解消や医療費抑
制の近道にもなる」と訴え
た。
署名は3月末締め切り。
問い合わせは県薬剤師会、
電話098(963)89
30、ファクス098(9
63)8932。



論壇

え、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることがで
きるよう、地域の包括的な支
援・サービス提供を目的とし
た「地域包括ケアシステム」
の整備を国は急いでおり、そ
である。北部や離島について
はさらに深刻な状況で、全国
平均の50％程度となってい
る。地域間格差の無い県民医
療水準の向上のために沖縄県
は薬剤師数の確保に力を入れ
ることが喫緊の課題である。

662人に対し、国公立大学は17校で定員746人である。術水準の向上につながるのではないだろうか。

沖縄県内だけでなく日米、

九州には国立大学は3校しか無く、定員はわずかに125人である。大多数が私立大学に進学するが、ネットで調べると6年間の平均授業料は国立大学の350万円に対し、私立大学は1200万円と高額である。

アジアを含め世界でも活躍できる、医療の担い手としての質の高い薬剤師を養成しつつ地域医療の水準を向上させるためにも、沖縄県薬剤師会は琉球大学への薬学部（科）の創設を強く要望している。国立大学には国全体としての定

琉球大学に薬学部を
人材不足補い学

人材不足補い學術向上へ

の中で薬物療法を支える薬剤師の役割は大きい。しかし、離島県である本県の薬剤師数は人口10万人当たり全国平均の170人に対し、沖縄県は131人であり、これは全国平均の76%であり全国最下位

薬剤師になるには、現状では本土の薬系大学に進学しなければならぬ。2017年度の調査によると、薬系大学の無い沖縄を除いて全国には私大を含めて73大学がある。私立大学が56大学で定員1万

その他に生活費などもかかるので、県民所得が低い沖縄の保護者にとって負担は相当に重いものと思われる。県内に薬学部（科）があれば保護者の経済的な負担が軽くなるだけでなく、逆に、県外から優秀な人材が入り沖縄県の学

員枠が設けられており、目的の達成には非常に厳しいものがあるが、それでも県民が要望し、行政、政治、大学当局が共に国に働き掛ければ道は拓けると思う。

（那覇市、沖縄県薬剤師会会長、68歳）

拓けると思う。

(那覇市、沖縄県薬剤師会
会長、68歳)

県内に薬学部創設を
県薬剤師会が署名運動

県内の国公立大学への薬学部・学科の創設を求め、県薬剤師会が1月下旬から署名活動を行っている。同会によると、沖縄は人口10万人当たりの薬剤師数が全国最下位で、北部や離島は特に人材確保が難しい。県内で薬剤師の養成ができれば、県外からも優秀な人材が入ってくるなどの効果が

あると期待する。

医療団体や医療関係者を中心に署名を集めており、それ以外も賛同する人へ広く呼び掛けている。3月まで署名を募り、琉球大と名桜大、県に届ける方針。

県薬剤師会の亀谷浩昌会長は「県外私大の薬学部に進学すると、経済的な負担が大きい。地元で養成できれば、優秀な人材を確保しやすい」と述べた。問い合わせは同会☎098(963)8930。

平成30年2月19日(琉球新報社提供)

移転の琉大に
薬学科設置を

県薬剤師会、文科相要請

【東京】県薬剤師会の亀谷浩昌会長らは25日、文科省に林芳正文科相を訪ね、米軍キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区跡地に移転予定の琉球大学医学部に薬学科を設置するよう要請した。亀谷会長によると、林文科相は「胸に留めておきたい」などと述べた。

西普天間跡地では移転する琉大医学部・同附属病院を中心とする「沖縄健康医療拠点」の形成が掲げられ、国内唯一の亜熱帯地域という特性を生かした創薬研究の充実化などがうたわれている。亀谷会長は要請後、沖縄の人口10万人当たりの薬剤師数が全国最低であることなどに触れ「沖縄には薬剤師が少なく、学問研究ができる場をつくりたい。創薬産業の活性化にもシナジー効果が出る」と強調した。

平成29年10月1日(琉球新報社提供)

琉大薬学科設置要請

文科相に県薬剤師会

【東京】県薬剤師会の亀

谷浩昌会長は25日、林方正

文科相を訪ね、琉球大学医

学部薬学科を設置するよう

求めた。林文科相は「胸に止めておく」と答えたという。

西普天間住宅地区の跡地

では、沖縄健康医療拠点構
想として琉球大学医学部と
付属病院を移設し、沖縄の
医療体制の中核となるよう
計画されている。

琉球大学の機能拡充の柱

あるため、薬剤師会では薬
学教育の充実を求めている。
る。

亀谷会長は「沖縄は薬剤
師が少ない。県外の大学で
学ぶ人もいるが、沖縄で学
び続ける場をつくり、質の
向上を図りたい」と語った。

平成29年9月27日(沖縄タイムス社提供)